

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年3月25日公開

アメリカの解体

預言アップデートに行く前にお知らせです。来週は、復活祭の日曜日、共に祝うのがとても楽しみです。礼拝は、通常通り午前8時半からと、10時45分から、また第一日曜日なので、オンラインチャーチの皆さんも一緒に聖餐式を行います。ただ来週は、預言アップデートはありません。御心であれば、4月8日の日曜日にまた再開します。

では、預言アップデートを始めましょう。今日は最も重要だと考える、3つの展開、先週1週間の間だけでも、どんどん支持を得ているように思える事についてお話ししたいと思います。預言的に大きな意味を持つ出来事が、他にも多く起こっているのも確かです。あまりに多くの事がものすごい速度で起こっています。ただ今日は、次の3つにフォーカスしたいと思います。これらは、聖書の中に書かれている3つの特定の預言に向かっている、と思われるからです。それらの預言は、皆さんにももうお馴染みになっているかと思います。毎週のように、これらについて話していますから。これらは現在起こっていて、成就寸前である、と私は思っています。特に順番はありませんが、これらを説明しますと、

シリアのダマスカスが滅ぼされ、廃墟となる。と告げている、イザヤ書 17 章、
それからエルサレムが、全世界にとってよろめかす杯となる、特にユダヤ人とパレスチナ人が、平和に安全に隣り合って暮らすという所謂「二国解決案」の名の下分断しようとする、ゼガリヤ書 12 章、
それからエゼキエル 38 章は、ロシア、イラン率いる同盟国が、北から、つまりシリアから、イスラエルを攻撃する、と伝えています。

さて初めにお伝えする一つ目は、少しこんがらがるかかもしれませんが、出来る限り詳細を説明して行きますので、根気よくお付き合いください。

重要な展開の一つ目は、アメリカの内側からの解体です。外からの力があることは確かなのですが、勢いを増しつつある、この内側の力について今日はお話ししたいと思います。これはアメリカ合衆国の影響力を無くそうとするのが目的で、その理由はたくさんありますが、その内の一つは、アメリカの重要性が世界舞台で小さくなれば、アメリカはイスラエルを防衛することが出来なくなる為。これが裏に隠されている目的です。

まずはこの、Breitbart Report から。その中で引用されている、マンモス大学の統計が驚愕の結果を明かしています。アメリカ人の74%が、「闇の国家が存在する」と信じている。そしてぐんと下がって60%が、闇の国家による支配や巧みな操作は問題だと感じています。次に闇の国家とは何か？それについても統計の中で説明されています。

「選挙によって選ばれたのではなく、任命されたのでもない、政府当局者達の集団で、連邦政策の決定に、過剰な影響力を持っている。つまり別の言い方をすれば、闇の国家とは、非常に強力な力を持つ人達の集団で、彼らは大衆を操作し、コントロールするために、密かに動いている。興味深いのは、筆者が続けて書いている点で、大手メディアはこれを「保守派達が勝手に盛り上がっている、熱狂的な陰謀論の罠」だとして、全く取り上げない。これはもう教科書通りなので、今日は特にわざわざそれには触れませんが、ではなぜ今日私は、この話から始めたのか？それはこの闇の国家、もしくは闇の政府のアジェンダ（策略）の台本となっている、

ソウル・アリンスキー著書の「Rules For Radicals (過激派のルール)」が包み隠さず繰り広げられているのを、現在私たちは目の当たりにしている、と私は心底思うからです。ちなみに彼は、自分を「初代過激派」として引き合いに出し、自身をルシファーに捧げています。さて皆さん、注意してよく聞いてください。“社会的状態”を生み出す為には、アリンスキーの「支配する為の8段階」が達成されなければならないのです。これに関して、勘違いしてはいけませんよ？“社会的状態”は、反キリストが登場して全世界を支配するための、完璧な嵐となるのです。

「新世界秩序 (NOW)」「世界統一宗教」「世界統一政府」「世界統一経済」の名の下に。そして現在、今日のアメリカ合衆国がこれを邪魔しているのです。これが実現するためには、アメリカは消えなければなりません。それから終わりが来る前に、これらの事が起こらなければならない、とイエスは言っておられます。いくつか取り上げて言及します。

1. 医療を支配する。
2. 貧困を増加させる。
3. 債務を増加させる。

ほんの72時間ほど前に、アメリカの大統領が2番目に高額な支出案に署名しました。最も高額な支出案はバラク・オバマで、それに次ぐ今回は、1.3兆ドル。ところで私の勘違いでなければ、私が読んだある報告によると、その支出案の1.3兆ドルのうち5億ドルが、Planned parenthood (中絶施設)に行くとの事です。私たちの国家負債は、すでにとてつもないところにまで達しています。という事で、「負債を増加させる。」次の4つ目について、時間の問題もありますので短く言及しますと、「銃規制」です。皆さんもきっと私と同じように、「March for OUR Lives」(私たちの命のための行進)を昨日目にされたでしょう。学生たちによって統率され、学生たちの行進で、「銃規制」一色でした。私はとにかく、このリストを読み上げますので、神によって与えられた洞察力と知性をもって、皆さんがこの点と点を結んでください。

4. 銃規制
5. 生活保護を増加
6. 教育を支配
7. 公共の場から、神と神への信仰を排除 それから8つ目。これが興味深いのですが、
8. 階級闘争

これは少なくとも我々が、今日この国で目にしているものを物語っていませんか？以前にも言いましたが、私の両親が“合法的”に移民してきたアメリカは…私の両親は、合法的に移民して来たのです。私の言う“合法的”とは、合法的にですよ？1963年のアメリカと、今日私たちが住んでいるアメリカとは別のものです。ここから2つ目の牽引力を増している、大きな展開に繋がるわけですが、つまり中東の和平案への高まる圧力です。エルサレムが“標的”になっています。月曜日、Breaking Israel Newsの報道によれば、エジプトとサウジアラビアが、トランプの「世紀の協定」を受け入れるように、アッバースに圧力をかけていると言います。ラマラの上級情報元が、Al-Quds新聞に伝えた話によれば、2つのアラブ国家が、パレスチナの当局議長のマフムダ・アッバースに、厳しく圧力をかけ…ところで彼の健康状態が良くないそうです。彼の日数が数えられているようで、これだけでも興味深いですね。しかもアッバースだけでなく、ヨルダンの王アブドゥッラー2世にも、世紀の協定を受け入れるように、圧力がかけられていると言います。興味深い補足ですが、エジプトはエゼキエル38章には出てきません。ヨルダンも、エゼキエル38章には出てきません。そしてサウジアラビアは、エゼキエル38章で、イスラエルを攻撃する同盟国には入っていませんが、実際にはサウジ

アラビアは、エゼキエル 38 章の 13 節にその古代名で登場し、ロシア、イラン、トルコその他の国々によるイスラエル攻撃に対して抗議しています。

サウジアラビアと言えば、水曜日の Al-Arabiya が興味深い記事を掲載しています。サウジの皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンが、アメリカの大統領と面談、それから上級顧問であるジャレッド・クシュナーとホワイトハウスで面談します。もう一度強調しておきますが、今お伝えしているのは、この6日の間に起こった事です。6日間ですよ。

ワシントンにあるサウジ大使館によれば、話し合いは、さらに将来的な中東の和平案に関して、それから、イスラエル-パレスチナ闘争に対する“可能な限り最善の”『持続的な解決策』…これについては以前お話ししましたね?…の中に、共通の利益を見出す為、とのこと。これら全てが交差し合う様子が、皆さんにも見えるでしょうか?一旦アメリカの力がなくなり、取り除かれ、それから、これら出来上がっている同盟国がイスラエルに攻め込んでくる時には、彼らを防衛する今日のようなアメリカは有りません。そしてその全てに、全世界をよろめかす杯としてのエルサレムが要となり、全ての根拠となっているのです。

そこから3つ目の重要な展開に繋がるのですが、それは増大する、シリア経由のロシアとイランからの脅威です。

火曜日、The Jerusalem Post が、トランプとサウジの皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンの会談の焦点は、イランであることを伝えていています。記事によれば、彼らの話し合いは、イランとの間の緊張感と、それからサウジ率いるイエメンでの軍事活動に関して。…これもまた興味深いのですが、これに関しては、別の機会にお話します。トランプと皇太子は、…興味深いことに、オバマ政権下で苦しんだアメリカとサウジの結びつきの強化を強調。アメリカの数十年来の味方であるサウジアラビアは、2015年あの地域におけるリヤドの仇であるイランとの核協議を追求するため、バラク・オバマ大統領に無視された。皆さん次のことをよく覚えておいてください。イランはシーア派イスラムで、サウジアラビアはスンニ派イスラムです。それからサウジアラビアは、メッカ、メディナの本拠地で、これら2つは聖地中の聖地です。ちなみに彼らはエルサレムの岩のドームを、イスラムの第3聖地だと言っていますが、それには1つ問題があるのです。それについては以前にお話しましたが、コラーンの中にエルサレムの名は、ただの1度も出てきません。サウジアラビアのメッカとメディナは、イスラムの2大聖地の本拠地です。そこに彼らの問題があるのです。ところでその中に、ロシア、イラン率いるあの攻撃をサウジアラビアが非難する理由があるのです。彼らはシリアから攻めてきますが、今日既に北部国境のゴランで、いつでも攻撃する用意を整えています。

そこからこの木曜日の Arutz Sheva の分析につながります。その中で彼らは、次のように疑問を投げかけています。「イスラエルは、イランの核開発計画を、攻撃する準備をしているのだろうか?」簡単に記事を読んでみましょう。

イスラエルは2007年、シリアの西部ユーフラテス川岸の町、デリゾール付近にあったアル・キバール核施設を爆撃していたことを、ついに公式に認めた。しかしながらこの発表のタイミングが、イスラエルが、中東諸国にある核施設に対する新たな攻撃に備えていることを物語っているのかも知れない。具体的にはシリアです。イランにまで行く必要はありません。シリアに行けば良いのです。ところでほんの数週間前でしたが、これがもう少しで始まる場所だったのですよ。イランのドローンが、シリアからイスラエル領空に不法に侵入したのです。当然イスラエルは、それを撃墜しました。それからシリアに行って、このドローンの始まりであると考えられている場所を攻撃しました。勘違いしてはいけません。イスラエルは、シリアで起こっている事

の全てを正確に把握しています。彼らは、バッシュール・アル・アサドが、朝コーヒーを飲みながら読んでいる新聞を…ちなみにトルココーヒーですよ？ダマスカスにある彼の住居で、彼が読んでいる同じ新聞記事を彼らは読んでいます。ですから彼らは、全てどこに何があるかはっきりと把握しています。そこで彼らは攻撃したのです。操縦士達は攻撃され、F-16 だったと思いますが、…これに関しては、間違っていたら教えてください。彼らはイスラエルの国内に戻って来る事ができました。そこでネタニヤフは、シリアから飛んできて彼らの領空に侵入したイランのドローンの破片を手を持って、そこにいたイランの代表員達に言いました。「これ、見たことありませんか？」私はこの聖化された強さが好きなんです。ともかく、「これ、見たことありませんか？あるはずですよ！これはあなたたちのものですから。我々を、試すんじゃない！」少し気分が良くなりました。

では次へ進みましょう。言うまでもない気がしますが、イスラエルは、ホワイトハウスにいる彼らの強力な友達、ドナルド・J・トランプによって、随分と励まされている。確実にトランプが、ボルトンとポンペオを選んだ、今はさらにでしょう。両者とも親イスラエル派で、それがあつる者にとっては、戦争の恐れを刺激しているほどです。ところで補足的にお伝えしますと、戦争が始まるにはほんの小さな火花で…『パン！（手を叩く音）』ああ、すみません。「マイクの前で手を叩かないでください。スピーカーが壊れます。」というコメントがありました。たくさんの人のスピーカーを壊していると思います。本当にすみません。請求書をお送りください。お支払いしますから。他のやり方を考えないと…。

ほんの 1 回の火花で、全てに火がつき、全ての事が動き出します。それも非常に迅速で、さらに突然に動きます。昨日、ほんの昨日の The Times of Israel の記事が非常に興味深い…というのは、まだ控え目な言い方でしょうが、よく聞いてください。保守派の扇動者ジョン・ボルトンを国家安全保障長官に、そして強硬派マイク・ポンペオを国務長官に選び、ドナルド・トランプ大統領は、世界情勢の危険リスクを劇的に高めた。これはまだ控え目な言い方ですよ。彼はただ世界情勢の危険リスクを高めただけでなく、彼がバーを上へ上げたというよりは、もはやバーなんてない、と私は思います。これはイランに対して大胆不敵、ジョン・ボルトンだけでも汚名高きイランの核協議の猛烈な政敵です。イランも自覚しています。そして驚きもしませんが、大手メディアは、ジョン・ボルトンを悪魔のように取り上げて、…そんな時間はないのです。話が逸れてしまいました。血圧が上がるような事はしませんよ。

ではこちらのマイク・ポンペオはどうでしょう？私は彼が語るのには聞いたことはありませんが、彼については聞いています。私はこの人の事好きですよ。彼はイエス・キリストの確固たる信者であり、主に従っているようです。月曜日の Christian Post が、ポンペオの発言の中から、“イエス”、“携拳”、…私はこれで心が奪われましたよ。それから、“過激派イスラム”に関する言葉を 5 つ引用しています。記事によれば、CIA 長官のマイク・ポンペオは、解任されたレックス・ティラーソンの後任として、トランプ大統領より国務長官候補に選ばれた。ところティラーソンは、イラン協議に賛成だったのですよ。わかりますか？こう全てが相互に交わりあって、絡み合って、互いに共鳴し合って動いていますね？

彼は、過去に何度もイエス・キリストを崇める発言をして、波を創り出している。ああ嘘だと言って！波を創り出している？私たちが、イエス・キリストを崇めて波を創り出せたら良いのに！記事は続けて彼の発言を挙げています。そのうちの 2 つが、実によく物語っています。されに言えば、本当にワクワクしますよ。

1 つ目、「イエスが、“唯一の解決策だ。”

2 つ目、「闘争は、携拳が起こるまで、終わることはない。」お～～！わお～～！私は、マイク・ポンペオに全く同感です。携拳の時まで、私たちが従事する中、これは終わることのない闘争であつて、私たちは、主が来

られる時まで従事しなければなりません。

それからどうか疲れてしまわないでください。本当に、実に間もなくですから。今日起こっている事の全てが、全速力で起こっていて、しかも止めることが出来ない勢いです。つまり、これはもう時間の問題であることを意味しています。黙示録 1:3 は、これまた私の大好きな聖句ですが、イエスの言われたことを、ヨハネが書いています。

「この預言のことはを朗読する者と、それを聞いてそこに書かれている事を心に留める人々は幸いである。時が近づいているからである。」(黙示録 1:3)

ところで聖書の全 66 書の中で、これは唯一、それを朗読する者、聞く者、心に留める者に、祝福が約束されている書ですよ。それから面白いと思いませんか？この書を、クリスチャン達が恐れているのです。サタンは、クリスチャンから盗む事に成功したと思いますね。彼は盗人ですよ。彼は、盗み、殺し、滅ぼす事を狙っているのです。確実に彼は、唯一祝福が約束された書、私達のものであるはずの祝福を盗むことに大成功しました。黙示録 22 は、黙示録 1:3 と本立てのようで、ここでもイエスが言っておられます。

また、彼は私に言った。「この書の予言のことはを封じてはいけない。時が近づいているからである。」(黙示録 22:10)

使徒ペテロが、彼の手紙第一 4:7 で、次のように書いています。

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために心を整えて、身を慎みなさい。」(第一ペテロ 4:7)

つまり、「よく見張っていなさい。」

最後はいつものように、主の御名を呼び求めて、救われた事のない人に、その機会をお与えて終わりたいと思います。まだ時間のある内に、今日が救いの日です。時は近づいています。世界中で現在、これだけ全てが起こっているのに、永遠のいのちに関わる、人生の中で最も重要な決断を、先延ばしにしてはいけません。これから、イエス・キリストにある救いの良き知らせ福音をお伝えします。

まず、**第一コリント 15:1-4** をお読みします。ここでは使徒パウロが、福音とは何かを伝えています。

「兄弟達。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたが、よく考えもしないで、信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音の言葉を、しっかりと保っていれば、この福音によって、救われるのです。私が、あなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。」

ここからですよ。これが良き知らせです。ちなみに福音の意味は、

「良い知らせだ！あなたの負債が贖われた。あなたの死刑宣告は贖われた。あなたはもう自由だ。あなたは自由に行ける。」これが良い知らせ、福音の意味です。

「キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また、聖書の示すとおり、3日目によみがえられたこと。」(第一コリント 15:1-4)

来週の日曜日、復活した主を祝う、復活祭が待ち遠しいです。これが福音ですから。主は、死んで3日目によみがえられた。主は、十字架にかかって、私たちの代わりに死に、私たちの全ての罪の全額を、私たちの為に支払ってくださったのです。それが福音です。

次に福音にどう応えるのか？これは子供にでも分かるほど簡単です。イエスは言われました。

「あなた方も、悔い改めて子供のようにならない限り、決して天の御国には入れません。」(マタイ 18:3)

これは“子供じみた”ではなく、子供にでも分かるABCのように簡単なのです。そこで、あと数分だけお付き合ってください。救いのABCをお伝えしたいと思います。ここに救われる方法をまとめてみました。

Aは、自分が罪人であることを、Admit/認める。

これは神に対する悲しみが、真の悔い改めへと導くのです。義なる神に対して、罪を犯した事への神に対する悲しみです。そこには心の変化が起こります。ある人が言ったように、私たちが考え方を変えれば、神は、私たちの心を変えて下さる。そして内側から再生して下さるのです。それは、私たちが、自分の罪を認識するところから起こります。ローマ書 3:10にはこうあります。

それは次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ書 3:10)

ローマ書 3:23にはこうあります。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、」(ローマ書 3:23)

私たちは皆、罪人として生まれたのです。だから私たちは、霊的に新しく生まれなければ、神の御国には入れないのです。ローマ書 6:23には、こうあります。これもまた私の大好きな聖句で、悪いニュースが先に来て、良いニュースがセットになっているからです。では悪いニュースとは何か？それは、罪から来る報酬は死です。つまり私たちの罪とは、死刑宣告を意味しているのです。私たちの前には、死刑宣告がぶら下がっている。しかし良い知らせがあるのです。良い知らせはこちら、

「しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠の命です。」(ローマ書 6:23)

パウロがエペソの人たちに書いた手紙の 2:8-9には、こうあります。

「あなた方は、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出た事ではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇る事のないためです。」(エペソ 2:8-9)

つまり私たちは、獲得することは出来ないのです。私たちが獲得した唯一の報酬は、死です。それが唯一、私たちが獲得したものです。“獲得”と“受け取る”の間に、違いがあるのです。あちらは報酬、こちらは賜物です。

「神の下さる賜物は、私達主イエス・キリストにある永遠の命です。」(ローマ書 6:23)

Bは、イエス・キリストが主である、それから神が彼を死からよみがえらせたと心で Believe/信じる。

イエス・キリストは、ご自身が言われた通りの方である、と信じるのです。これはローマ書 10:9-10で、こうあります。

「あなたの心で、神はイエスを、死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

そして最後にCは、主の御名を、Call/呼び求める。そしてもしくは、イエスが主であると、口で Confess/告白する。

アダム以来、すべての人類が男も女も子供でさえも、ある日、それぞれの口で告白するのです。彼らはひざまずき、イエス・キリストが主であると、自分の口で告白します。ただの主ではありません。主の主であり、王の王です。言っておきますが、後でしないように。その時にする者にならず、今、したほうが良いですよ。口で告白し、主の御名を呼び求める。これもまたローマ書 10：9-10 で、そこにはこうあります。

「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ書 10：9-10)

最後にローマ書 10：13 です。皆さんの忍耐に感謝します。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」(ローマ書 10：13)

私は 35 年以上前でした。今では、36 年以上ですね。本土でとても寒い1月の夜でした。私は主の御名を呼び求めて救われました。あれから、一度も後ろを振り返った事はありません。今から 36 年前の事です。もしかしたら今日、主があなたに用意されている事かもしれません。これをインターネットでご覧になっているあなたに、今日があなたの救いの日になりますように。ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様。聖書預言を感謝します。あなたは御言葉の中で、非常に詳細に告げて下さり、あなたの来られる終わりの時に、世がどのような状態にあるのか、実に詳しく説明してくださいました。主よ。私たちが周りを見渡して、世で起こっていることを見てみると、特に中東で起こっている事、また、それがアメリカ合衆国に住む私たちに関連する様子、それは、まさにあなたが言われた事そのままです。あなたはこれらの事が起こる、とそれが起こる前に言ってくださいました。それが起こった時に、私たちが信じるためです。そして信者達は、これらの事が起こり始めるのを見たなら、頭を上にあげます。贖いが近づいていますから。主よ。どうか今日、ここに居る人、またはこれをインターネットで見ている人の中に、あなたの御名を呼び求めて救われたことのない人が居るなら、今日、彼らがあなたを信頼し、あなたを呼び求め、あなたを信じて救われますように。そして私達、救われてあなたと共に歩いて来た者、長年歩いている者もいます。主よ。どうかこれが、私たちにとって励ましとなりますように。この世は、私たちの家ではありません。あなたがすぐに戻って来られるという、この祝福された希望を持って、私たちが、励ましを受け、互いに励ましあえるように。主よ。私たちは、頭を上げます。私たちは、私たちの贖いが、今までにないほどに近いことを信じます。主よ。マラナタ！イエス様、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン



このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Fuyuko Chishima